

9月議会 議案の中から .....

① 議案第13号 平成25年度一般会計補正予算

歳入歳出それぞれ約24億5969万円を追加した補正予算が可決。

○小学校空調設備設置に伴う設計委託 約1276万円  
財源内訳 国庫支出金 760万円  
鎌ケ谷市の負担 約516万円

全小学校の普通教室・特別教室に空調設備を26年度に設置するため、設計委託費を計上するもの。

年度	概要	費用
平成25年度	小学校の空調設備工事設計委託	約1276万円
平成26年度	小学校の空調設備工事	7億7400万円
	中学校の空調設備工事設計委託	4億6700万円
平成27年度	中学校の空調設備工事	

② 教育福祉常任委員会における松沢の質疑

Q 夏季までに工事が間に合うか?

A 今年度、補正で設計し、来年度の工事は4月以降、発注業務に1カ月から2カ月程度かかる。工事については内部工事があるので、年内に完了すると見込んでいる。また、年度当初、できるだけ早く発注できるように体制を進めていきたい。

○家庭的保育事業約 1582万円  
財源内訳 県支出金 162万円  
鎌ケ谷市の負担 約1420万円

新鎌ケ谷地区に定員15名の家庭的保育施設を整備するため、委託費を計上するもの。(平成26年4月開設予定)

○公立保育園定員増に向けた増改修 約5882万円  
総事業財源内訳 国庫支出金 3480万円  
保健福祉基金繰入金 1200万円  
鎌ケ谷市の負担 約1509万円

道野辺保育園と南初富保育園にて保育室を増設することにより、道野辺保育園10名、南初富保育園8名、合計18名の定員が増加する。(平成26年4月予定)

○その他の主な使い道

道路維持・補修事業 約6275万円

地域排水整備事業 5000万円

雨水貯留池整備事業 4116万円

(仮称)弓道・アーチェリー場建設事業 約8510万円

③ 議案第18号 平成24年度鎌ケ谷市一般会計決算の認定について

実質収支16億473万1000円が過去最高の黒字となるなど、前年度より財政状況の好転を示した議案が可決。

④ 決算審査特別委員会における松沢の主な質疑

○防犯カメラ設置事業 約236万円

Q 情報提供はあったか?

A 警察からの照会は平成24年度が21件、平成25年度が5月10日時点で15件。

Q 犯罪数の推移について

A 防犯カメラを設置した平成24年の市内の犯罪認知件数は、設置前の平成23年度と比べ180件減少しており、犯罪の抑止に一定の効果があると考えている。

○北総鉄道運賃助成事業 900万円

Q 鎌ケ谷市の補助金に対する見解について

A 白井市及び印西市で構成する北総線運賃問題対策協議会から弁護士、公認会計士等からなる調査会社に北総鉄道の経営、財務状況を分析し補助金の効果等の分析を依頼することは聞いていた。しかし、本日まで鎌ケ谷市には内容等の情報提供はない。他市の新聞報道を含めると、補助金の継続については来年の3月までに県と沿線6市で相談し、方向性をまとめていきたいとあるので、今後、白井市、印西市から協議があるものと認識している。いずれにしろ、鎌ケ谷市も含めて沿線6市と共同していくことが重要と考えている。

12月議会に向けて

上程される予定の議案は合計16議案であり、主な議案として、災害見舞金の額を2万円から3万円に増額しようとする議案や子ども医療費助成対象年齢拡大とともに、助成の開始日を出生・転入等があった日から助成できるようにする議案等が上程される予定である。また、議案第13号における一般会計補正予算では歳入歳出それぞれ約4億4130万円を追加した補正予算案が示された。

北中沢コミュニティセンター外壁・屋上防水・空調設備改修工事	約6164万円
床上浸水に対する災害見舞金の支給額引き上げ	436万円
子ども・子育て支援新制度対応システム導入	約454万円 (県支出金)
市道8号線の一部歩道整備	約761万円
くぬぎ山消防署建替事業	約7601万円 (総額約3億5372万円)
きらりホールオープニングセレモニー 新日本フィルハーモニー交響楽団公演	約672万円 (一般財源 約332万円)

三橋記念館跡地、民間保育園へ

きらり鎌ケ谷市民会館開館後の三橋記念館跡地利用について、ショッピングプラザ鎌ケ谷を事業展開する株式会社モール・エスシー開発が民間保育所を整備することで協議が整った。

開園時期 平成27年4月開園予定

定員規模 90名

運営事業者 株式会社も対象を含めて、保育事業運営する事業者の選定をする予定

三橋記念館跡地面積 約1200㎡ 園舎、園庭及び送迎用駐車場を設置



松沢たけひと プロフィール



- 昭和50年 鎌ケ谷市東中沢で誕生
- 昭和57年 みちる幼稚園卒園
- 昭和62年 市立鎌ケ谷中部小学校卒業
- 平成2年 市立鎌ケ谷第四中学校卒業
- 平成5年 県立白井高等学校卒業
- 平成10年 中央学院大学法学部法律学科卒業
- 平成18年 (株)人形工房 武人 設立 代表取締役  
節句人形師として、日本古来の伝統を守り続ける
- 平成19年 鎌ケ谷市議会議員 初当選
- 平成23年 鎌ケ谷市議会議員 再選

私、松沢たけひとは38歳と会派政友会の中では最年少ではありますが、鎌ケ谷市議会議員の一人として、市民の皆様に信頼され、そして、期待に応えられるように行動してまいります。

## 市民にとっての居場所について

地域や近隣の人との接点を持つことでふれあいが生まれ、住みやすい地域が形成されます。各世代、年齢にかかわらず、いつまでも元気に生きがいを持ち、住みなれた地域で自分らしく生き生きと暮らしていくということは、誰もが望んでいることなのではないのでしょうか。

### Q 放課後における子どもの居場所づくりについて

A 放課後児童クラブは、児童福祉法に基づき、就労などにより昼間保護者が家庭にいない小学校に就学している児童に対して放課後に適切な遊びや生活の場を与え、児童の健全な育成を図る事業。市内には小学校9校で10施設を設置しており、うち東部小学校は保護者の方により運営。また、現在市内には中央児童センターを初めとして4カ所の施設と児童センターとコミュニティセンターの複合施設である天野コミュニティセンター、17カ所の児童遊園がある。

### Q 学童保育のニーズについて

A 保護者の方が運営している東部小学校学童保育を除いた市で運営している9カ所の最近の放課後児童クラブへの入所者の推移は、各年5月1日現在の状況で、平成22年度351名、平成23年度359名、平成24年度392名、平成25年度404名で近年増加傾向にあり、放課後児童クラブのニーズは高まる傾向にあると考えている。

### Q 子育てサロンの現在の状況と今後について

A 平成24年度に中央児童センター内に子育て支援センターを設置し、子育て支援全般の窓口となり、多くの方が利用されている。また、平成25年7月からは、南児童センターにおいて乳幼児の保護者が集い、交流できる場として集いの広場を開設し、子育て支援の拡大を進めている。次年度以降は、くぬぎ山児童センター、北中沢児童センターと順次同様の事業を展開していく予定。

### Q 高齢者のための居場所について

A 社会福祉センター、そのほか市内16カ所で談話室と3カ所の老人憩いの家を開設している。談話室は、孤立の防止、地域活動の場として各地域のボランティアにより公民館やコミュニティセンター、自治会において月に1回ないし2回開催。老人憩いの家については、地域の高齢者が気軽に集え、親睦と交流の場として週に2回ないし3回開催されており、その設置場所としては2カ所が自治会館、1カ所が個人宅を利用している。また、ボランティアの方がみずから高齢者のためのサロンを開設されているところもあり、今後一層進めていく必要があると考えている。

### Q 事業推進のための市のサポート体制について

A 市民公益活動団体を支援する制度としては2つの制度がある。市民提案協働モデル事業は、市民との協働を推進するとともに多様化した市民ニーズに対応し、地域社会の課題解決を目指すため、市がすぐれた提案をした市民公益活動団体へ事業を委託し、実施するもの。また、市民活動支援補助金は、設立後の活動期間が1年から3年未満の市民公益活動団体が行う公益的な事業の経費を一部補助する制度。

## ★ 松沢の提案

枚方市ではパソコンと学習ソフトを活用して自学自習力支援システム活用事業を実施している。放課後の2時間程度、退職教員や地域の人材等を学習支援者として配置し、放課後自習教室を開設し、児童のための居場所づくりを推進している。

## 豪雨災害について

近年発生が増えている突発的な集中豪雨などの影響で道路の一部が冠水するなど市民生活の影響は大きく、浸水対策は地域における大きな課題となっています。

### Q 過去の豪雨による降雨量及び災害発生の状況について

	件数	時間 最大雨量	道路 冠水	床上 浸水	床下 浸水
平成20年度	7件	29.5ミリ	29件	1件	13件
平成21年度	5件	33ミリ	45件	7件	25件
平成22年度	7件	40ミリ	124件	26件	46件
平成23年度	4件	16ミリ	10件	0件	0件
平成24年度	1件	13.5ミリ	14件	0件	0件

件数は時間最大雨量10ミリを超えた件数

### Q 集中豪雨の際に道路冠水する箇所や、床下、そして床上浸水の可能性のある地域について

A 過去に発生した台風や大雨などの被害状況から主な道路冠水箇所を上げると、入道溜交差点付近を初め、栗野市営住宅付近、北初富市道1408号線付近、中沢新橋などで発生しており、床上、床下浸水は平成22年度、台風や大雨の影響により、主に馬込沢地区で被害が発生している。このことから、集中豪雨などが発生した場合、下流側の河川整備が進んでいない現状では同様の箇所で道路冠水などが発生するおそれがあると考えている。

### Q 現在実施中の治水工事箇所 進捗状況について

A 下流側の河川の整備が進んでいない中、浸水被害軽減対策を中心に事業を進めている。準用河川二和川護岸改修を進めており、馬込沢駅付近から上流に向けて整備を進め、現在鎌ヶ谷9丁目の木下街道まで護岸改修工事が完了している。また、南初富5丁目貯留池整備事業を実施しており、計画地の用地取得が完了したことにより、本対策工事を平成25年、平成26年の2カ年で実施する予定。あわせて公園用地を利用した雨水貯留浸透施設の設置を行い、浸水被害の軽減に取り組んでいきたい。

## まとめ . . . . .

台風26号の大雨により被害に遭われた皆さまには、心からお見舞い申し上げます。台風26号は市内にも大きな被害をもたらし、市内では馬込沢地区や東道野辺地区などにおいて、床上浸水164件、床下浸水272件、道路冠水54箇所（11月25日発表）の被害が発生しました。浸水被害を軽減するために、二和川護岸改修工事や貯留地整備事業を早急に取り組む必要があります。

## 若手市議会議員の会 研修会に参加

「亀田総合病院」鴨川市 9月30日  
 亀田総合病院は千葉県南部の基幹病院として地域の救急医療・高度医療サービスを担っている。当院の亀田院長による「少子高齢化と地域医療」について講演を聞いた。千葉県南部地域はますます少子高齢化が進むことが想定される。今後の医療は集約と分散、役割分担、情報共有をいかにバランスよく進めてゆかが鍵となる。更に介護・福祉との連携も必須であると説いていた。住民の安全・安心な生活が送れるよう医療機関や介護、福祉の組織と行政、住民がまちづくりを共に行っていく必要がある。

「横浜市の保育所待機児童対策」横浜市 11月18日  
 横浜市は待機児童対策として多様な事業主体の活用をし、24年度に約5300人分の定員を拡大した。新規開設した74カ所の内、株式会社・NPO法人等によるものは46カ所である。待機児童数は平成25年4月1日時点で0人ではあるが、あくまで厚生労働省の通知に基づいた集計結果であり、実際には保育所申込者数が48818人のところ、入所児童数は47072人と希望通りの保育所に入所できていない児童数は1746人いるのも事実である。待機児童・保留児童解消する取組を継続させるために、地域の潜在ニーズを見込んで、効率的・効果的な対策を講じていく必要がある。



## 編集後記 . . . . .

鎌ヶ谷市での待機児童数は平成24年度末66人、申込して、入所できなかった児童は228人です。株式会社による認可保育園を平成14年に初めて設置したのが横浜市であり、保育園の経営状況を分析することの重要性等、横浜方式の待機児童対策について担当者から直接伺うことができました。鎌ヶ谷市においても民間保育園を新設するにあたって、現代の多様化した雇用形態に合わせて、受け皿の整備を進めていくことが必要になるのではないのでしょうか。

## ご意見

市政に関するご意見等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。また、お友達との井戸端会議、勉強会等、2~3人でも出張市政報告に伺います。

TEL 047-445-5260 FAX 047-443-5551 E-MAIL kamagaya@t-matsuzawa.net

